

# 令和4年度第5回ヨコハマeアンケート

## 横浜市新たな中期計画の基本的方向に関するアンケート

実施期間 令和4年6月10日（金）から6月24日（金）

事業所管課 政策局 政策課

回答者数 1,242人（回答率：29.1%）

【参考】eアンケートメンバー数 4,261人（6月10日時点）

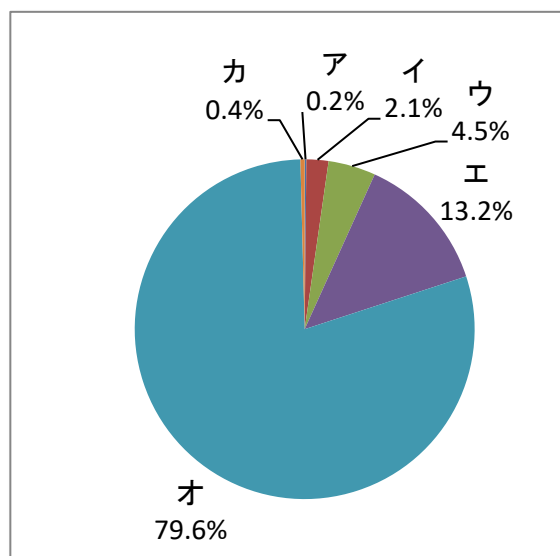
年代別、横浜市内在住・在勤・在学別の回答者構成比

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	計
横浜市内在住	1 (0.1%)	17 (1.4%)	74 (6.0%)	225 (18.1%)	372 (30.0%)	292 (23.5%)	256 (20.6%)	1,237 (99.6%)
横浜市内在勤	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.2%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (0.2%)
横浜市内在学	1 (0.1%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.2%)
計	2 (0.2%)	18 (1.4%)	76 (6.1%)	226 (18.2%)	372 (30.0%)	292 (23.5%)	256 (20.6%)	1,242 (100.0%)

### Q1 あなたの横浜市在住歴について教えてください。 (単一選択)

n = 1,242

ア	1年未満 (Q2・3へ)	0.2%	2
イ	1年以上5年未満 (Q2・3へ)	2.1%	26
ウ	5年以上10年未満 (Q2・3へ)	4.5%	56
エ	10年以上20年未満 (Q2・3へ)	13.2%	164
オ	20年以上 (Q2・3へ)	79.6%	989
カ	横浜市に住んでいない (Q4・5へ)	0.4%	5
無回答		0.0%	0
		100.0%	1,242

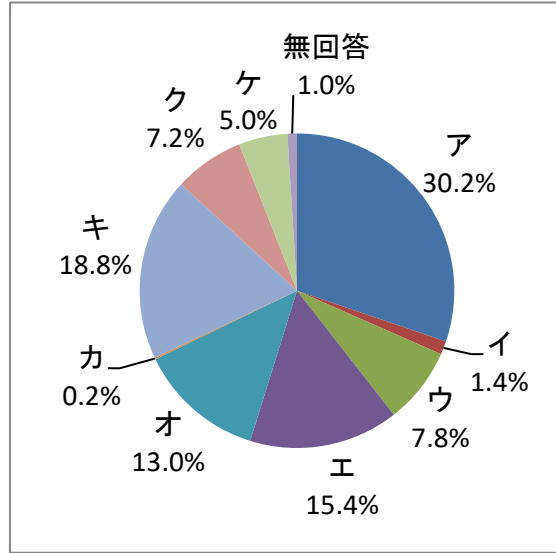


Q2

Q1で「ア～オ」を選択された方にお聞きします。  
横浜市に在住することになった、一番大きな理由やきっかけについて選択してください。  
(単一選択)

n = 1,237

ア	生まれた時からの住まいのため	30.2%	374
イ	進学のため	1.4%	17
ウ	就職のため	7.8%	97
エ	転職や転勤など仕事のため	15.4%	190
オ	結婚のため	13.0%	161
カ	親族の介護のため	0.2%	2
キ	住宅の購入	18.8%	233
ク	親や親族との近居・同居のため	7.2%	89
ケ	その他	5.0%	62
無回答		1.0%	12
		100.0%	1,237



その他(抜粋)

横浜市が好きだから

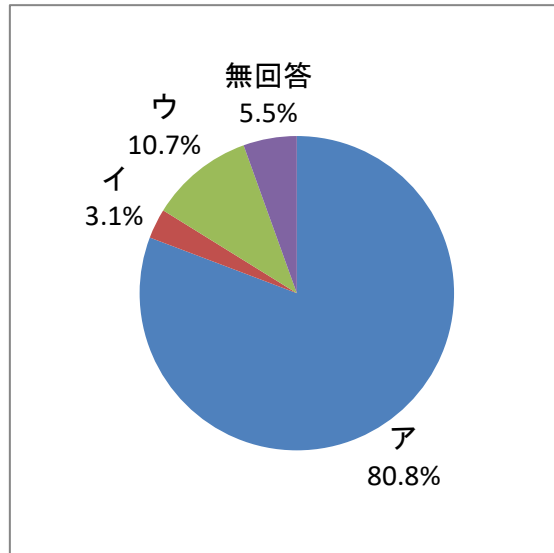
街並みが気に入ったから。

東京よりも自然が豊かで、空気がきれいだから。

**Q3** Q1で「ア～オ」を選択された方にお聞きします。  
 今後も横浜市に住み続けたいと思いますか。  
 (単一選択)

n = 1,237

ア	住み続けたい	80.8%	999
イ	転居したい	3.1%	38
ウ	分からない	10.7%	132
無回答		5.5%	68
		100.0%	1,237



「ア 住み続けたい」 選択理由

多様性のある住空間と十分な財政力を持ち、将来性がある都市だと思うから。  
 横浜に生まれ、長く横浜市内に住んでいるから。また愛着があるから。  
 気候的にも、自然災害のリスクが少ないことが大きい。また、横浜発祥の物、文化が先進的であるから。

「イ 転居したい」 選択理由

いずれは故郷へ帰りたい。  
 仕事がリモート勤務になり、自宅が職場から遠くても問題がなくなった今、横浜市は家賃などが高く生活面が厳しいため。  
 田舎暮らしがしたい。

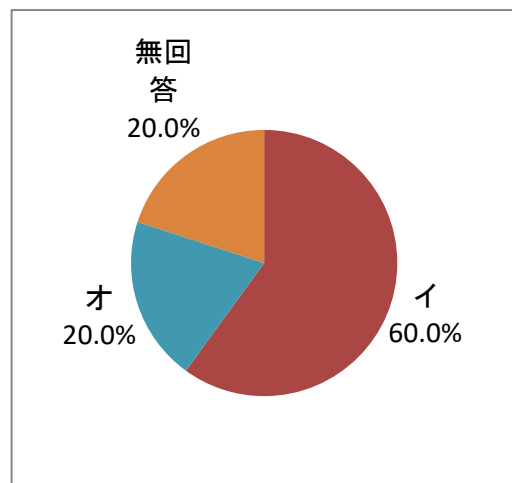
「ウ 分からない」 選択理由

いずれは実家の近くに住みたいと考えていたが、横浜市の住みやすさを知り迷っているため。  
 横浜に住むメリットがないから。  
 子どもが都内に家を持つことになり、将来的に一緒に住むかもしれない。

**Q4** Q1で「カ 横浜市に住んでいない」を選択された方にお聞きします。  
 あなたの横浜市内への在勤・在学歴を選択してください。  
 (単一選択)

n = 5

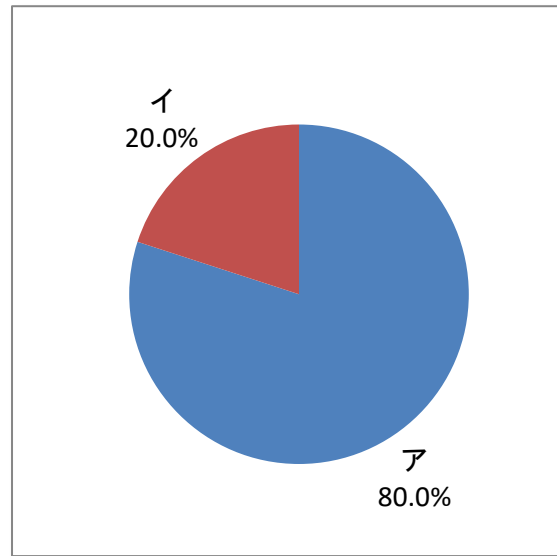
ア	1年未満	0.0%	0
イ	1年以上5年未満	60.0%	3
ウ	5年以上10年未満	0.0%	0
エ	10年以上20年未満	0.0%	0
オ	20年以上	20.0%	1
無回答		20.0%	1
		100.0%	5



**Q5** Q1で「カ 横浜市に住んでいない」を選択された方にお聞きします。  
 今後横浜市に住みたいと思いますか。  
 (単一選択)

n = 5

ア	住みたい	80.0%	4
イ	住みたくない	20.0%	1
ウ	分からない	0.0%	0
無回答		0.0%	0
		100.0%	5



「ア 住みたい」 選択理由

施設が充実している。街の所々に自然を感じる。新しい事を取り入れている。住みやすく美しい街並みがある。

利便性と豊かな自然を兼ねているから

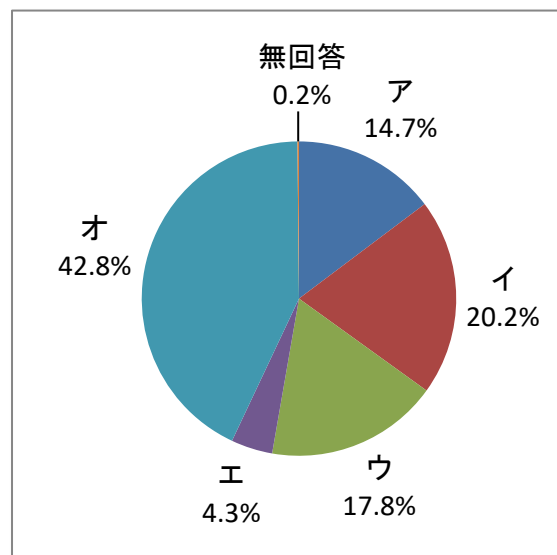
「イ 住みたくない」 選択理由

先祖代々住んでいる現在の土地を終の棲家と考えています。横浜市を否定的に考えている訳ではありません。

**Q6** 全員にお聞きします。  
 あなたの普段の通勤・通学時間(片道)はどのくらいですか。  
 (単一選択)

n = 1,242

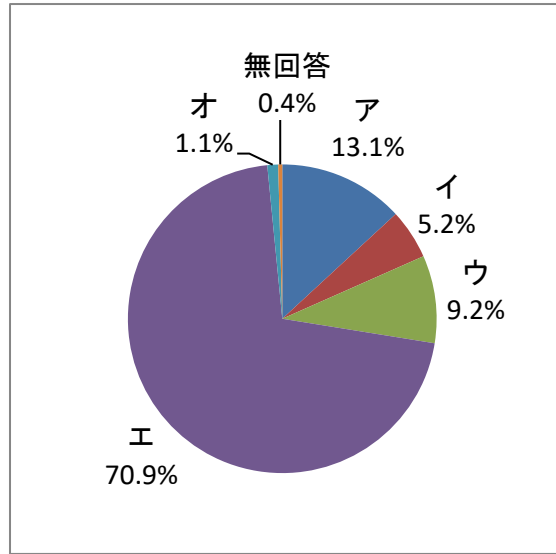
ア	30分未満 (Q7へ)	14.7%	183
イ	30分～1時間未満 (Q7へ)	20.2%	251
ウ	1時間～1時間30分未満 (Q7へ)	17.8%	221
エ	1時間30分以上 (Q7へ)	4.3%	53
オ	現在通勤・通学はしていない (Q8へ)	42.8%	532
無回答		0.2%	2
		100.0%	1,242



**Q7** あなたの普段の主な通勤・通学手段について選択してください。  
(単一選択)

n = 708

ア	徒歩	13.1%	93
イ	自転車	5.2%	37
ウ	車・バイク	9.2%	65
エ	電車・バス	70.9%	502
オ	その他	1.1%	8
無回答		0.4%	3
		100.0%	708



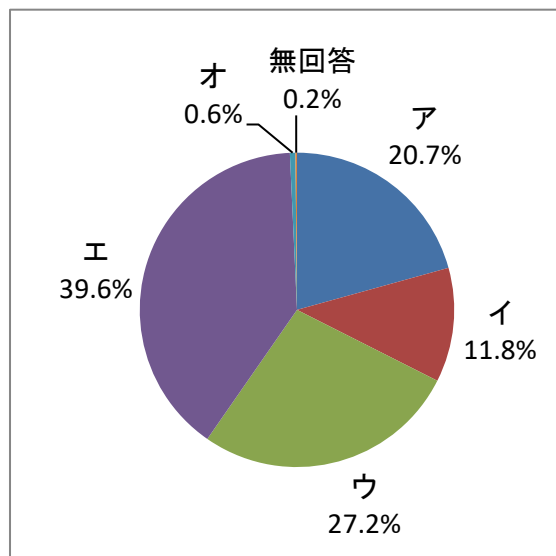
その他(抜粋)

基本的にはテレワーク(=PCを使った在宅勤務)です。

**Q8** 全員にお聞きします。  
あなたが通勤・通学以外の外出や移動でよく使う交通手段について選択してください。  
(単一選択)

n = 1,242

ア	徒歩	20.7%	257
イ	自転車	11.8%	146
ウ	車・バイク	27.2%	338
エ	電車・バス	39.6%	492
オ	その他	0.6%	7
無回答		0.2%	2
		100.0%	1,242



その他(抜粋)

タクシーが多い。また、親を介護しているので、介護タクシーの利用も多い。

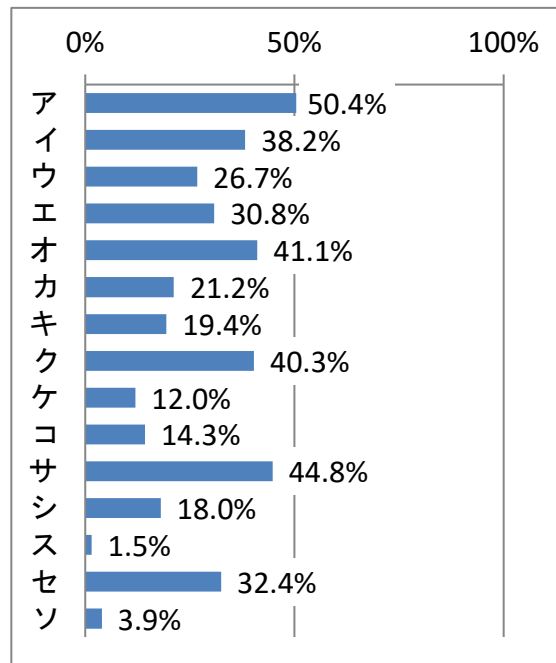
Q9 横浜市には様々な資源や価値がありますが、その中であなたが特に重要だと考えるものは何ですか。

※オ インナーハーバー:おおむね横浜ベイブリッジの内側でJR京浜東北・根岸線の海側の地域。横浜駅周辺地区・京浜臨海部・みなとみらい21地区・関内・関外地区等一帯を含む。

※コ MICE:企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(インセンティブ旅行)(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)などの総称  
(複数選択可)

n = 1,242

ア	計画的な都市形成による美しく住みやすい街並み	50.4%	626
イ	良質な住環境と豊富な住宅供給量	38.2%	475
ウ	市民の自治意識の高さ・豊富なコミュニティ人材	26.7%	332
エ	国際平和や多文化共生の風土	30.8%	383
オ	賑わいや経済活力を生み出すインナーハーバー	41.1%	511
カ	研究開発機関や企業の集積	21.2%	263
キ	開放性や進取の気質	19.4%	241
ク	東京都心部や羽田空港からの良好なアクセス性	40.3%	501
ケ	大学等教育環境の集積	12.0%	149
コ	アジアを代表するグローバルMICE都市	14.3%	177
サ	緑の計画的保全	44.8%	556
シ	活力ある都市農業	18.0%	224
ス	活発なスポーツ活動	1.5%	19
セ	活発な文化芸術活動	32.4%	403
ソ	その他	3.9%	49



その他(抜粋)

SDGSなど、環境問題などの課題解決に向けた取組を率先できるモデル都市

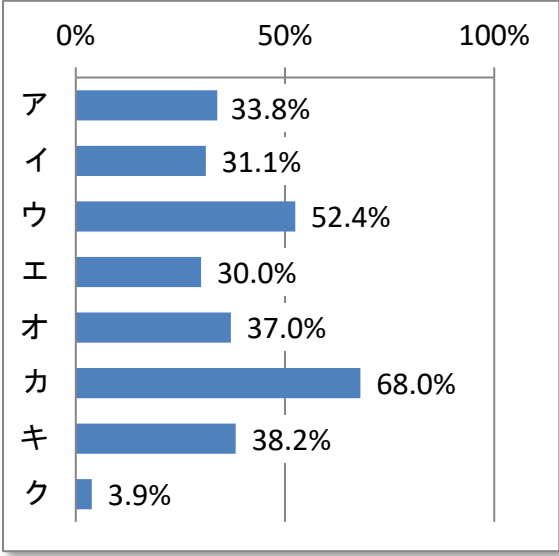
移住者をよそもの扱いしない温かな歴史観

横浜の歴史、文化

**Q10** 今から約20年後(2040年頃)も、横浜市が魅力あるまちであるためには、どのような状態であることが望ましいでしょうか。ご自身、お子さんやお孫さん世代、更にその先の世代へ続いていくまちとして、また、他都市や世界に対して魅力をアピールできるまちとして想定した時の、横浜のありたい姿を選択してください。(複数選択可)

n = 1,242

ア	新しい時代に対して挑戦をするベンチャー気質をもった都市	33.8%	420
イ	様々な困難を抱えてもその人が望む道を選択しみんなで応援する都市	31.1%	386
ウ	多種多様な人の才能やその人らしい可能性をひらく都市	52.4%	651
エ	たくさんの人が集い明日を感じ語りあえる都市	30.0%	372
オ	多くの様々な企業が集まりつながり新しい価値を生み出しつづける都市	37.0%	460
カ	自然や文化をはじめとした豊かなまちの魅力をひらく都市	68.0%	845
キ	横浜市が持続可能であることはもちろん地球における持続可能性をひらく都市	38.2%	475
ク	その他	3.9%	48



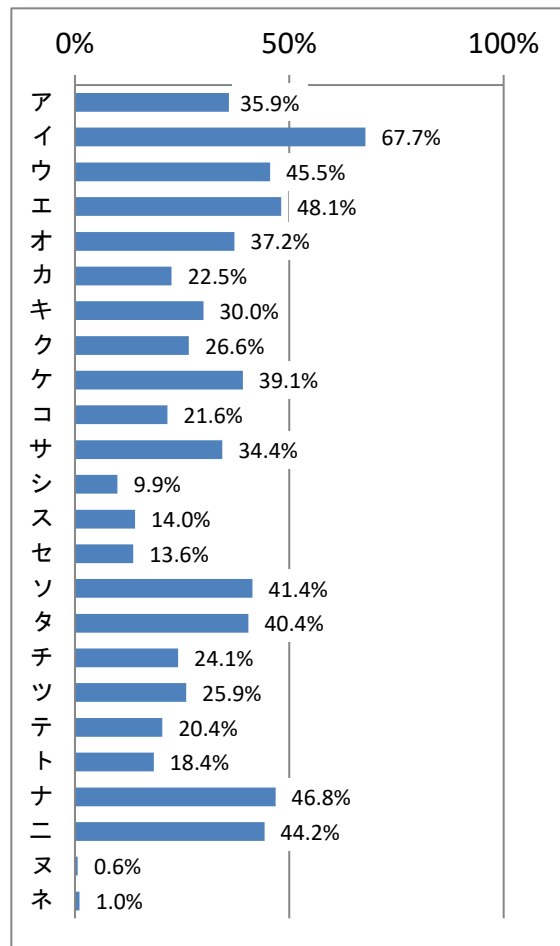
その他(抜粋)

1位を目指すよりも他地域と協力しあえている都市。市の人口増加を目指すのではなく、様々な地域の良さを生かし合えるような力のある都市。  
 外部環境に影響されず自立的な経済力を持つ「稼げる都市」  
 市民が助け合い住まう都市

**Q11** 社会の変化や、今後さらに顕在化・深刻化しそうな課題を統計データなどにより把握し、それが解決した姿のイメージを記載した「めざす未来の具体像」のうち、あなたが共感できるもの、望ましいと考えるものを選択してください。  
 ※「ヌ 特になし」を選択した方は、他の回答を選択しないでください。  
 (複数選択可)

n = 1,242

ア	誰もが自分らしく生きる地域コミュニティ	35.9%	446
イ	誰もが健やかで安心して暮らせるまち	67.7%	841
ウ	未来を創る子どもが育まれるまち	45.5%	565
エ	多世代が健康に活躍できる地域社会	48.1%	597
オ	ワークとライフが心地よく調和した暮らし	37.2%	462
カ	脱炭素ライフスタイルによるサステナブルな暮らし	22.5%	280
キ	あらゆる世代の人々が自然とつながっている	30.0%	372
ク	賑わいとイノベーションがあふれるまち	26.6%	330
ケ	子育て世代が住みやすいまち	39.1%	486
コ	グローバル視点で選ばれるまち	21.6%	268
サ	観光とビジネスが融和する心地よいまち	34.4%	427
シ	企業にDXと人の力が浸透している	9.9%	123
ス	脱炭素・世界基準企業への挑戦ステージへ	14.0%	174
セ	様々なプレイヤーが集う研究開発の集積地へ	13.6%	169
ソ	ストレスのない暮らしの交通環境	41.4%	514
タ	多様な交通手段により誰もが気軽に移動できるまち	40.4%	502
チ	世界と日本をつなぐ進化した港湾	24.1%	299
ツ	持続可能な生態系を守り育てている	25.9%	322
テ	豊かな市民生活を支える横浜ブランドの農	20.4%	253
ト	日本・世界をリードするグリーンシティ	18.4%	228
ナ	災害に備えて安全・安心を共に高め合うまち	46.8%	581
ニ	災害リスクが低減された強靱なまち	44.2%	549
ヌ	特になし	0.6%	8
ネ	その他	1.0%	13



その他(抜粋)

ゆりかごから墓場まで、自分の人生を選べるまち。

アからニまでの全てを目指すのが、行政の役割ではないでしょうか。

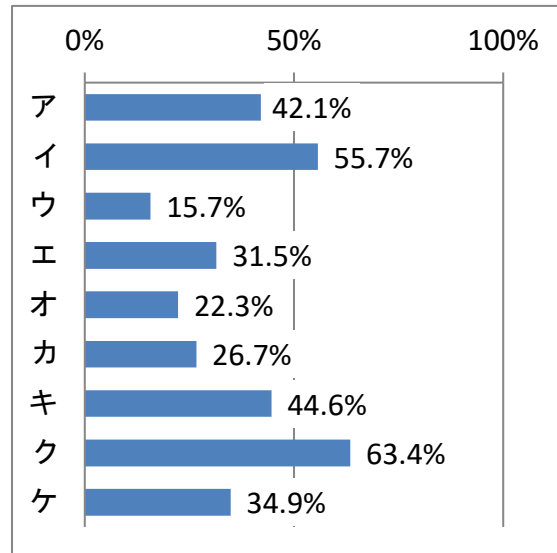
どの選択肢も観念的であり、単なる標語のようで選びようがない。



**Q12 「共にめざす都市像」の実現に向け、10年程度の取組の方向性を「9つの戦略」として示しています。あなたが特に注力していくべきと考える戦略はどれですか。（複数選択可）**

n = 1,242

ア	すべての子どもたちの未来を創るまちづくり	42.1%	523
イ	誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり	55.7%	692
ウ	Zero Carbon Yokohamaの実現	15.7%	195
エ	未来を切り拓く経済成長と国際都市・横浜の実現	31.5%	391
オ	新たな価値を創造し続ける郊外部のまちづくり	22.3%	277
カ	成長と活力を生み出す都心・臨海部のまちづくり	26.7%	331
キ	花・緑・農・水の豊かな魅力あふれるガーデンシティ横浜の実現	44.6%	554
ク	災害に強い安全・安心な都市づくり	63.4%	788
ケ	市民生活と経済活動を支える都市づくり	34.9%	433

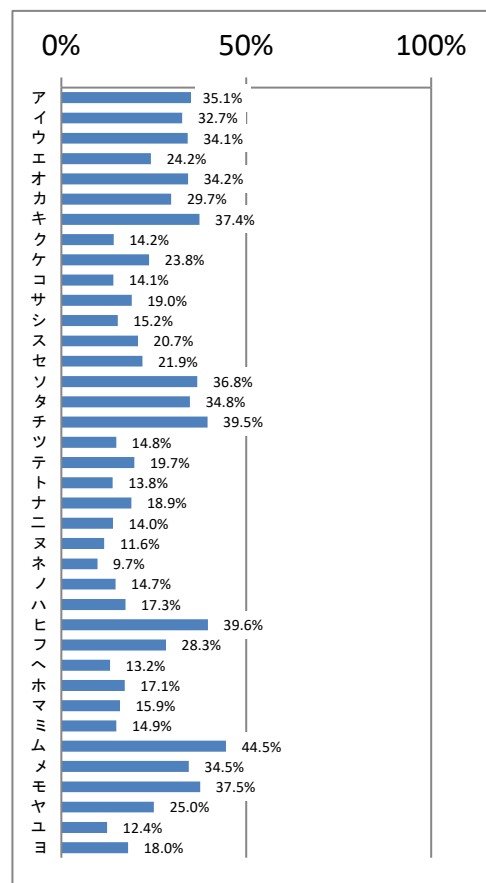


Q13

「共にめざす都市像」の実現に向け、4か年で重点的に推進すべき政策として38の取組を示しています。あなたが、横浜市が直近4か年で取り組むべきと考える政策はどれですか。（複数選択可）

n = 1,242

ア	全ての子育て家庭及び妊産婦への総合的な支援	35.1%	436
イ	乳幼児期から学齢期までの子ども・子育て支援	32.7%	406
ウ	子ども・若者を社会全体で育むまち	34.1%	424
エ	児童虐待・DV被害の防止と社会的養護体制の充実	24.2%	301
オ	未来を創る子どもを育む教育の推進	34.2%	425
カ	魅力ある学校づくりと豊かな学びの実現	29.7%	369
キ	健康づくりと健康危機管理による市民の安心確保	37.4%	464
ク	スポーツで育む地域と暮らし	14.2%	176
ケ	持続可能な地域コミュニティの実現	23.8%	295
コ	参加と協働による地域福祉保健の推進	14.1%	175
サ	多文化共生の推進	19.0%	236
シ	ジェンダー平等の推進と多様な性のあり方の尊重	15.2%	189
ス	障害児・者福祉の充実と地域生活支援の促進	20.7%	257
セ	暮らしと自立を支えるサポート体制の強化	21.9%	272
ソ	高齢者の暮らしと安心を支える地域包括ケアの推進	36.8%	457
タ	地域で最後まで安心して暮らせる在宅医療・介護等の推進	34.8%	432
チ	医療提供体制の充実・強化	39.5%	491
ツ	脱炭素社会の推進	14.8%	184
テ	持続可能な資源循環の推進	19.7%	245
ト	中小・小規模事業者の経営基盤強化・経営革新と人材の活躍支援	13.8%	172
ナ	横浜経済の未来に向けた取組	18.9%	235
ニ	観光・MICE振興による国際観光都市の形成・発信	14.0%	174
ヌ	大学と連携した地域社会づくり	11.6%	144
ネ	国際ビジネスの推進による市内経済の活性化及び地球規模課題の解決	9.7%	121
ノ	世界の人々が集い繋がる国際都市・横浜の実現	14.7%	182
ハ	人を惹きつける魅力的な郊外部のまちづくり	17.3%	215
ヒ	豊かで暮らしやすい住まい・環境づくり	39.6%	492
フ	日常生活を支える地域交通と移動環境の確保	28.3%	351
ヘ	魅力と活力あふれる都心部・臨海部の機能強化	13.2%	164
ホ	文化芸術創造都市による魅力・賑わいの創出と文化的に豊かな生活の実現	17.1%	213
マ	多様なライフスタイルを支える自然豊かな都市環境の充実	15.9%	197
ミ	活力ある都市農業の展開	14.9%	185
ム	大規模地震への対策	44.5%	553
メ	激甚化する風水害への対策	34.5%	428
モ	災害から命を守るための地域防災力向上	37.5%	466
ヤ	生活や経済を支える交通ネットワーク	25.0%	311
ユ	総合港湾づくり	12.4%	154
ヨ	公共施設の計画的かつ効果的な保全更新	18.0%	224



Q14 あなたが「こうなってほしい」と思う未来の横浜の姿や、未来に向けて横浜市が取り組んでいく必要があると思う取り組みなどご自由にお書きください。  
(自由意見)

(抜粋)

国や他の自治体に先駆けて、新しいことを取り入れ、時代に合わせて変化していける町。
横浜に生まれ育った子供たちが健全に成長し、自分の町に誇りを持ち、より魅力的な町になるような努力をすれば、未来の横浜はより一層輝くと思います。そのサポートをお願いします。
横浜市民だけでなく、他の地域の人も「横浜に住んでみたい」と思える街づくりを期待しています。
活力ある都市として、全世代が適材適所の活躍ができる社会を目指すために教育や就業の場など、活躍するための様々な場を提供してほしいです。
企業と市民がバランスよく支えあって生活しやすく、災害時にも強い街づくりをしてほしいです。
経済的な発展と観光的な魅力を高め、子育てしやすく高齢者が住みやすい、そんな街であってほしい。放っておくと失われる文化遺産や産業遺産を見逃さずに掘り起こし、観光資源として整備し、横浜市の魅力を高めてほしい。
個人の住みやすさも大事だが、コミュニティとして、都市として、天災や人災に対して強固な都市機能をもつ横浜であってほしい。都市の地盤がしっかりしていれば災害があってもすぐに生活活動を再開することができると思います。
古いものも残しつつ、単に残すだけではなく、リニューアルし新しい時代に対応できるようにする。かつて開港により西洋文化の取り組みにおいて日本をリードしたように、今の時代も脱炭素やSDGsなどの取り組みで日本及び世界をリードしてほしい。
多様性ある社会を実現してほしいと思います。誰もが自分らしく生きていける社会というのが理想だと思います。横浜市にはそのような都市になってほしいです。そのためにも、性別、人種、年齢などによる差別や偏見のない社会を私たちが築いていくことが大切ではないかと思います。